

サステナビリティ経営方針

2025年10月

株式会社 靖光

代表取締役 金子 兼也

サステナビリティ経営方針

世界の状況と企業への期待

現在、世界は気候変動等の環境問題の深刻化、格差や貧困の拡大、感染症の拡大、紛争の勃発等、難題に直面しており、企業を取り巻く環境も急速に変化、多様化、複雑化しています。その様な状況のもと、当社は企業には「持続可能(サステナビリティ)な社会の実現」に貢献する社会的責任があると認識し、環境負荷低減、人権尊重等に取り組んでおります。

また、近年、SDGsへの関心の高まりなど、社会課題の解決に向けた企業への期待も高まっております。

当社事業の意義

当社は卸売業を中心に、物流、自社農園、特定技能とグループ全体で農業に携わっており、事業を通じて食の安定供給に貢献しています。

今回の検討結果

当社は仕入先と販売先がそれぞれ150社程度あり、多くの取引先を抱えています。取引先の課題を解決することが事業の源泉であることからお客さま満足の追求はこれまで以上に進めていくとともに、多様なお客さまに対応するには幅広い知識や経験を持つ人材が必要です。また、農業の発展のためには当社のエリアはもとより、地方の発展も貢献していくべきと考えます。一方、適切な管理体制で事業継続を行うには法令遵守は欠かせないことから次の4つをマテリアリティに掲げ、取り組みを進めてまいります。



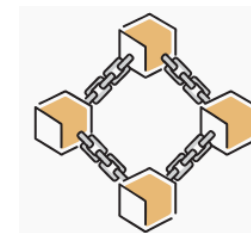
お客さま満足の
追求



多様な人材の
活躍



地域活性化



法令遵守

サステナビリティへの具体的な取り組み

マテリアリティ

お客さま満足の追求



選定理由

お客さま満足を追求することによって、より高品質なサービスが提供できるようになり、当社やステークホルダーの成長に寄与することからマテリアリティとして選定

アクションプラン

- 営業人員の増強による訪問件数の増加
- 取引先との継続的な対話

取り組み効果

- お客さま満足の向上
- 競争力の向上



マテリアリティ

多様な人材の活躍



選定理由

さまざまなニーズに対応するためには性別、年齢、国籍等を問わず、従業員ひとりひとりが活躍できる環境を整えることが重要と考えマテリアリティとして選定

アクションプラン

- 業務内容を洗い出し、職位と職能を整理する
- 従業員の意向と職能を把握するため1on1ミーティングの実施

取り組み効果

- 事業環境変化への対応力強化
- 人材定着と新規採用の強化



KPI(目標と指標)

- 2027年までに仕入先数を200先にする
(2024年:150先)
- 2027年までに特定技能での送り出し人数を50名とする。
(2024年:20名)

KPI(目標と指標)

- 人事規定の制定
- 職能に応じた従業員の管理職への登用

サステナビリティへの具体的な取り組み

マテリアリティ

地域活性化



選定理由

地域の発展が当社の成長に繋がることからマテリアリティとして選定

アクションプラン

- 地方の取引先との継続的な対話
- 異業種やUターン、Iターン人材の採用

取り組み効果

- 地域社会との信頼関係の構築
- 地域全体のブランド価値の向上
- 従業員満足度の向上

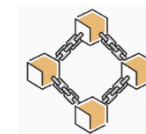


KPI(目標と指標)

- 耕作放棄地を買い上げ、自社農園として運営する
- マネジメント人材を採用する

マテリアリティ

法令遵守



選定理由

健全な事業運営の根底には法令遵守があり、法令の対応は継続して行うことが求められるためマテリアリティとして選定

アクションプラン

- 業務開始前の確認の徹底(点呼、管理簿の作成等)
- 社内で毎月コンプライアンス研修の実施
- 特定技能の派遣先へ定期的なヒアリングの実施

取り組み効果

- 企業の社会的信用の向上
- 求職者への対外的PR



KPI(目標と指標)

- 労災件数0件を継続
- 特定技能で送り出した人材の継続フォロー